特別支援学級　生活単元学習　学習指導案

1　単元名　　「野菜を育てて、食べよう」

2　単元の指導計画

【単元の学習課題】野菜を育てて食べよう

次	時	主な学習内容	活動	重点	記録	留意点等	関連
1	1～7 （5～6月）	野菜の育ち方 野菜の育て方	苗植え 栽培（水やり・追肥・日当たり） 観察	知① 知② 知③ 態①	ロイロ	写真の撮り方の工夫 数的な観察	理科 技術
2	8～11 （7月）	調理ができる① 野菜の切り方 器具、食器の洗い方	調理 ⑴みそ汁、甘辛炒め ⑵みそ田楽 ⑶ピザトースト	知④ 態② 態⑤	ワークシート	感染対策 火・包丁の扱いに注意	家庭
	12～14 （7月）	洗濯機を使った洗い方・干し方 アイロンのかけ方	洗濯 アイロンがけ	知⑤ 態②		洗剤の量	家庭 数学
3	15～20 （8・9月） （本時）	野菜の種類・栄養など 夏野菜（果実菜）の育ち方と育て方 さつまいも（根菜）の育ち方と育て方 調理ができる②	調べる 観察記録の整理 共通点・相違点 比較 調理 ⑷スイートポテト	思① 思② 態③	ロイロ ワークシート ロイロ	発表準備も兼ねて野菜についてまとめる 「果実菜」と「根菜」	社会 理科 生活 家庭 技術
4	21～22 （10月）	発表の仕方・工夫	発表準備・発表	知⑥ 態④	ロイロ ワークシート	自分の目標を決める 聞き手意識	国語
	23 （10月）	育てる苦労 学習したことの生かし方	まとめ・振り返り	思③ 態⑤	ワークシート	様々な立場を想起させる	社会 道徳

【単元のまとめ】野菜にも成長があり、お世話をして実る。野菜を工夫して調理しておいしく食べることができる。野菜によって共通していることもあるし、違うこともある。

3　単元末に効果的な振り返りをするための手立て

- ＩＣＴ（ロイロノート）を活用し、学習がいつでも思い出せるようにする。
- 実際に体験する活動を多く取り入れる。
- 実生活に生かしやすい学習内容、学習活動を取り入れ、繰り返し扱う。

特別支援学級　生活単元学習　学習指導案

1　単元名　　「野菜を育てて、食べよう」

2　本時の指導

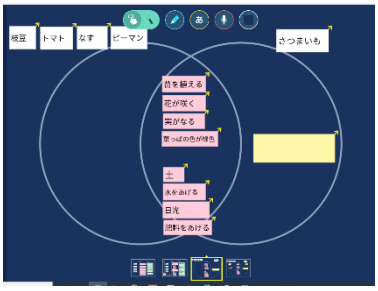
（1）ねらい

夏野菜（果実菜）とさつまいも（根菜）について、実際の観察記録を見比べたり、夏野菜の料理をさつまいもにあてはめたりすることを通して、共通点と相違点を考えることができる。

（2）本時の構想

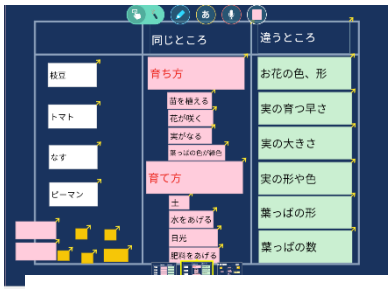
本時は、夏野菜（果実菜）とさつまいも（根菜）の育ち方・育て方・料理を比べて、共通点と相違点を考える『問題解決型』の授業である。これまで、夏野菜の栽培・観察を通して夏野菜の共通点や相違点を考え、夏野菜の育ち方・育て方を学んだ。また、収穫した夏野菜を調理して食べる活動をした。もうすぐ、さつまいもの収穫時期である。さつまいもを収穫する前に、夏野菜で学んだことを生かす学習に挑戦する。知識が断片的になりやすいといわれる知的障がい生徒に、知っている、または学習した知識を、他のことにつなげることができるという経験を積み重ねていきたいと考えている。そこで、本時では、

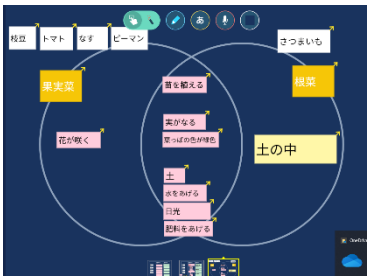
- 生徒自身がまとめた成長過程カードを使って、夏野菜の成長過程を振り返る時間をとる。夏野菜の花・果実に注目できるように観察記録を印刷して提示する。
- 夏野菜（果実菜）とこれから収穫するさつまいも（根菜）の共通点と相違点を考える場面では、ロイロノートのシンキングツールを活用する。
- 夏野菜を実際に調理した料理（甘辛炒め、みそ汁、ピザトースト、みそ田楽）をさつまいもにあてはめて料理の候補をあげていく。また、さつまいも料理にはお菓子系もあることに気づかせる。
- 調理活動の打ち合わせをする場面では、夏野菜の時と同じワークシートを使い、材料や必要な道具、さつまいもの切り方などを確認する。
- ロイロノートの活用やインターネットの閲覧を取り入れる。ロイロノートは過去の記録、画像をいつでも見ることができ、拡大ができるので、詳しく知ることができる。ロイロノートは、字を書いたり、考えたりすることが苦手な生徒への支援道具として、また、理解をする、深めるための支援道具として活用できる。インターネットの閲覧では、検索することで知りたいことをすぐ調べることができ、時短になる。



夏野菜の同じところから、さつまいもにはないカードを左にスライド。さつまいもしかないことを右のカードに入力。個人で考えたものを提出し、確認した。

個人で考えたものを提出し、照らし合わせていった。





最終的にこのようにまとまった。